令和6年第11回定例教育委員会　教育委員提案

公民館の今後のあり方について

教育委員会事務局　生涯学習課

【目次】

１　公民館の役割について
２　戸田市の公民館の特徴・課題
３　福祉センター（公民館）の再編検討について
４　あいパルの事例について
５　公民館の今後の方向性について

１　公民館の役割について

1 公民館の役割について

「公民館」とは？

社会教育法に基づき全国に設置されている社会教育施設であり、地域住民のために社会教育を推進する拠点として、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・つながりづくり・地域づくりに貢献する施設

教育基本法

第12条（社会教育）

　個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

2　国及び地方公共団体は、図書館、博物館、**公民館**その他の**社会教育施設の設置**、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって**社会教育の振興に努めなければならない。**

社会教育法

第20条（目的）

　公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する**教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い**、もつて**住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する**ことを目的とする。

第22条（公民館の事業）

　公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね、下記の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

1 **定期講座を開設**すること。

2 **討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催**すること。

3 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。

4 体育、レクリエーシヨン等に関する集会を開催すること。

5 各種の団体、機関等の連絡を図ること。

6 その施設を**住民の集会その他の公共的利用**に供すること。

1 公民館の役割について

公民館に関する国・県の方針

【国の方針】

第４期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）

＜今後の教育政策に関する基本的な方針③＞

「地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」

→公民館等の社会教育施設の機能強化、社会教育人材の養成と活躍機会の拡充

目標10 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

→社会教育施設の機能強化

→地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携

【埼玉県の方針】

第４期埼玉県教育振興基本計画（令和6年度～10年度）

＜目標Ⅷ 生涯にわたる学びの推進＞

施策24 生涯学び、活躍できる環境整備

→社会教育施設などにおける生涯学習の機会の充実や、学びの成果を生かすための支援が必要

施策25 社会教育の推進

→地域課題の解決につなげる学習の促進や地域コミュニティの維持・発展を推進するなど**社会教育施設の機能強化**

公民館等の社会教育施設の機能強化が求められている

２　戸田市の公民館の特徴・課題

２ 戸田市の公民館の特徴・課題

「学びとつながりのプラットフォーム」第２世代の公民館へ



月刊公民館2021年4月号
戸ヶ崎教育長寄稿記事

学びとつながりのプラットフォーム第2世代の公民館

新型コロナウイルスにより，学校教育は大きな影響を受けました。学校再開後もさまざまな行事，授業，給食，部活動などで中止や活動制限が余儀なくされています。一方，対面授業とオンライン授業とを組み合わせた新しい教育様式や，ＧＩＧＡスクール構想による一人一台の端末配備によってＩＣＴ教育などの進化も生じました。

こういった進化は，生涯学習においても同様に生じています。その背景には，コロナウイルスだけでなく，超高齢社会や人工知能（ＡＩ），そして，Society5.0というデジタル革新と多様な人々の創造力等の融合により，社会課題を解決し価値を創造する社会への変化があります。その社会は超高齢社会と親和性が高いのです。

人生百年時代，学びを通じて行動変容し続ける高齢者は，その経験と創造力等を融合させることで，変化の大きい社会の有力な担い手となります。また，デジタル化は高齢者には難題といわれていましたが，コロナ禍にあって，インターネットを介して遠方の家族と対面したり，ネット通販や通院にも挑戦されたりする方が増えているようです。高齢者のインターネット交流サイトも急速に普及しています。

地域の学びの拠点でもある公民館も，対面とオンラインを組み合わせた「ハイブリッド型」とすることで，新たな可能性も大きく広がります。オンラインで得た気付きや人脈をリアルな地域のなかで生かす「学びとつながりのプラットフォーム」としての公民館の存在価値が高まるはずです。最終学歴ではなく最新学習歴を自慢でき，人生百年を生かし切る「第２世代の公民館」の構築に期待してやみません。



戸田市教育委員会
教育長
戸ヶ崎勤

2 戸田市の公民館の特徴・課題

戸田市の公民館について

福祉センター業務

貸室　　施設管理

いこいの室　　多世代交流事業

複合施設

公民館業務

講座開催　　イベント運営

サークル支援　　情報提供



西部福祉センター（美笹公民館）	
所在地	美女木5-2-16
整備年月	昭和47年3月(築52年)



東部福祉センター（下戸田公民館）	
所在地	下前1-2-20
整備年月	昭和49年3月(築50年)



新曽福祉センター（新曽公民館）	
所在地	新曽1395
整備年月	昭和52年3月(築47年)

2 戸田市の公民館の特徴・課題

①美笹公民館の主な取組と課題点

年間利用者数：15,908人
（令和5年度）
育成サークル数：9団体

【主な取組】

〇市民が主役となる地域人材活用講座の実施
企業や学校、珈琲工房、料理サークル、歌人、画家、パン教室、その他市民団体等





〇学校連携講座を毎年実施



生徒が講師となる県立南稜高校「お茶会」「夏休み子どもチアダンス講座」

〇いつでも・どこでも！地域とつながる @美笹公民館
第76回（令和5年度）優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）を受賞

【特徴】館内に**市民課美笹支所**や**図書館美笹分室**が複合している。2023年８月**「西すてっぷ」**が設置された。

【課題点】

〇施設は**老朽化し、防音設備がなく**、またモニターや全館に**Wi-Fi環境が整っていない**など学習設備や活動環境としては、**現代社会の学びに適応していない。**

〇施設の老朽化による**雨漏り**や**空調設備の不具合、排水管の劣化**など日々修繕が絶えない。

〇**館内は暗く**、また**防犯カメラは設置されておらず**、利用者の**安全面で不安**を抱えている。

〇トイレは和式もあり利用しづらい。

〇**駅から遠く、交通が不便**にもかかわらず駐車場が不足している。

〇福祉センターと公民館を職員が兼務しているため、公民館業務を担う**職員が不足**している。そのため、地域連携やサークル支援の強化が図れていない。

2 戸田市の公民館の特徴・課題

第76回（令和5年度）優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）受賞
いつでも・どこでも！地域とつながる ＠美笹公民館

特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している社会教育施設を表彰するもので、令和５年度は全国から６９館が受賞。（全国の公民館数　約13,500館）

オンデマンド講座の実施など、美笹公民館のデジタル化の取組が高く評価された。



第76回優良公民館表彰 表彰式　令和６年２月９日



2 戸田市の公民館の特徴・課題

②下戸田公民館の主な取組と課題点

年間利用者数：84,687人
（令和5年度）
育成サークル数：21団体

【主な取組】



４階体育室を使った、運動や体操などの講座を実施



官民連携事業としてドローン体験講座を実施



地元のレストランシェフを招き、地域連携講座を実施

【特徴】 球技もできる**体育室があり、若い利用者が多い。図書館下戸田分室**があり、児童図書が充実している。

【課題点】

〇施設の老朽化が著しく、故障頻度が多いことから、サービス水準維持のための**小規模修繕を常に行っている。**

〇体育室には**空調設備がなく、館内の旧設備の使いづらさ**もあり、多世代の利用を促すにあたっては、 Wi-Fiを含めたICT設備やユニバーサルデザインの導入など、**現代に即した施設整備が急務**となる。

〇施設の収容人数、利用者数に対して、駐車場の数が少ない。

〇東部福祉センターと市民課東部連絡所（平日のみ開設）の窓口業務も兼務で行っており、公民館の講座やイベントなどの充実にあたっては、**職員配置に苦慮**している。

2 戸田市の公民館の特徴・課題

③新曽公民館の主な取組と課題点

年間利用者数：45,545人
（令和5年度）
育成サークル数：10団体

【主な取組】

ホールを活用しビッグバンドジャズ演奏会や落語等を実施





国際交流協会と連携した多文化共生の講座を実施（令和5年度）





地元の新曽地域で、歴史ガイドとめぐる歴史ツアーを実施

【特徴】 3階に舞台・音響設備を備えたホール（約330席）がある。

【課題点】

○**設備や備品の老朽化が顕著**であり、ICT環境も十分ではなく、市民ニーズに対応できない。

○古くからある施設であり、ある程度の認知度があるが、高齢者の利用が多く、**コミュニティの拠点としては活用されていない。**

○設置場所が住宅地にあり、大きな道路に面していないため、**場所がわかりにくい。**

○**職員数が不足**しており、**不測の事態があった際の対応に限界がある。**

○館に社会教育主事資格取得者の配置もないため、**講座の企画・運営等に苦慮**することがある。

○社会教育施設として、ホールを十分に活用できていない。

２ 戸田市の公民館の特徴・課題

戸田市の公民館の課題（まとめ）

【老朽化】

・施設が**老朽化**しており古く暗いイメージがある。

・防犯カメラがない

【認知度】

・福祉センターとの併設であるため**「公民館」としての認知度が低い。**

・施設名称が「福祉センター・公民館」と併記されていることから、**市民にとってわかりにくい。**

※「西部福祉センター・美笹公民館」、「東部福祉センター・下戸田公民館」など名称が異なっている館もある。

【高齢化】

・福祉施設を兼ねていることもあり、**施設利用者の高齢化**が顕著である。

※各館に福祉施設として、**「浴室」「機能回復訓練室」「いこいの室」**があり、60歳以上の市民が利用している。

・**公民館育成サークルが年々減少**しており、「公民館まつり」の運営が難しくなってきている。

※美笹公民館…９団体　下戸田公民館…２１団体
新曽公民館…１０団体

【職員体制】

・土日祝日も開館しており、職員が**シフト制で勤務**を行っているため、連絡体制が取りづらく、**人的余裕がない**。

・福祉センター業務との兼務のため、業務によって**指示系統が分かれている**。

３　福祉センター（公民館）の再編検討について

３ 福祉センター（公民館）の再編検討について

福祉センター再編検討・西部福祉センター再整備基本構想策定について

現状と課題

市内３福祉センター（公民館）については、これまで住民のコミュニティ活動の拠点として利用されてきたが、建築から約５０年が経過し**施設の老朽化**が進んでいることに加え、近年では、**利用者数の伸び悩みや利用者の固定化**が生じている。

事業の目的・概要

社会情勢の変化に対応していくため、市民ニーズや課題の把握に努めるとともに、施設としての**今後のあり方等を検討し、再編方針を策定**することを目的とする。

また、西部福祉センター（美笹公民館）については、再整備に向けた基本構想の策定を行う。

再編検討の流れ

＜令和６年度～令和７年度＞

- 市民ワークショップ（各館ごと）
- 福祉センター（公民館）再整備方針策定
- 西部福祉センター（美笹公民館）再整備基本構想策定

＜令和８年度＞

- 西部福祉センター（美笹公民館）再整備基本計画策定

※福祉センター（公民館）の再編検討は、**「戸田市公共施設マネジメントアクションプラン」**に基づき、企画財政部資産マネジメント推進室が主導して実施

３ 福祉センター（公民館）の再編検討について

福祉センター再整備ワークショップ（令和6年12月～）





４　あいパルの事例について

4　あいパルの事例について

上戸田地域交流センター「あいパル」

年間利用者数：215,246人
（令和5年度）
ｻﾎﾟｰﾀｰｽﾞ倶楽部数：32団体
（サークル）

老朽化した上戸田福祉センター（上戸田公民館）の再整備について検討し、**福祉センター機能、生涯学習機能、男女共同参画推進拠点としての機能に、図書館分館を統合した複合施設**として平成27年9月に開館。



上戸田地域交流センター（あいパル）	
所在地	上戸田2-21-1
整備年月	平成27年6月（築9年）

- **指定管理者（民間事業者）**により運営
- 施設所管課は福祉保健センター（健康福祉部）
- にぎわい創出のため、定期的なイベントや魅力的な講座を開催
- 開放的な施設を活かした**柔軟な施設運営**

【社会教育関連施設としての生涯学習課との関わり】

- 指定管理の仕様書に生涯学習関連事業（講座の実施やサークル支援等）を位置づけ
- 四半期ごとのモニタリングで生涯学習事業の実施状況を確認
- 公民館との連携（あいパル運営委員等）や情報共有

4　あいパルの事例について

あいパルの生涯学習関連事業について

○生涯学習関連講座



【子育て支援講座】パパと一緒にリトミック



【子供向け学習講座】わくわくサイエンス

○あいパルフェスタ



サークル活動成果発表（サークル支援）

○とだハピ祭り



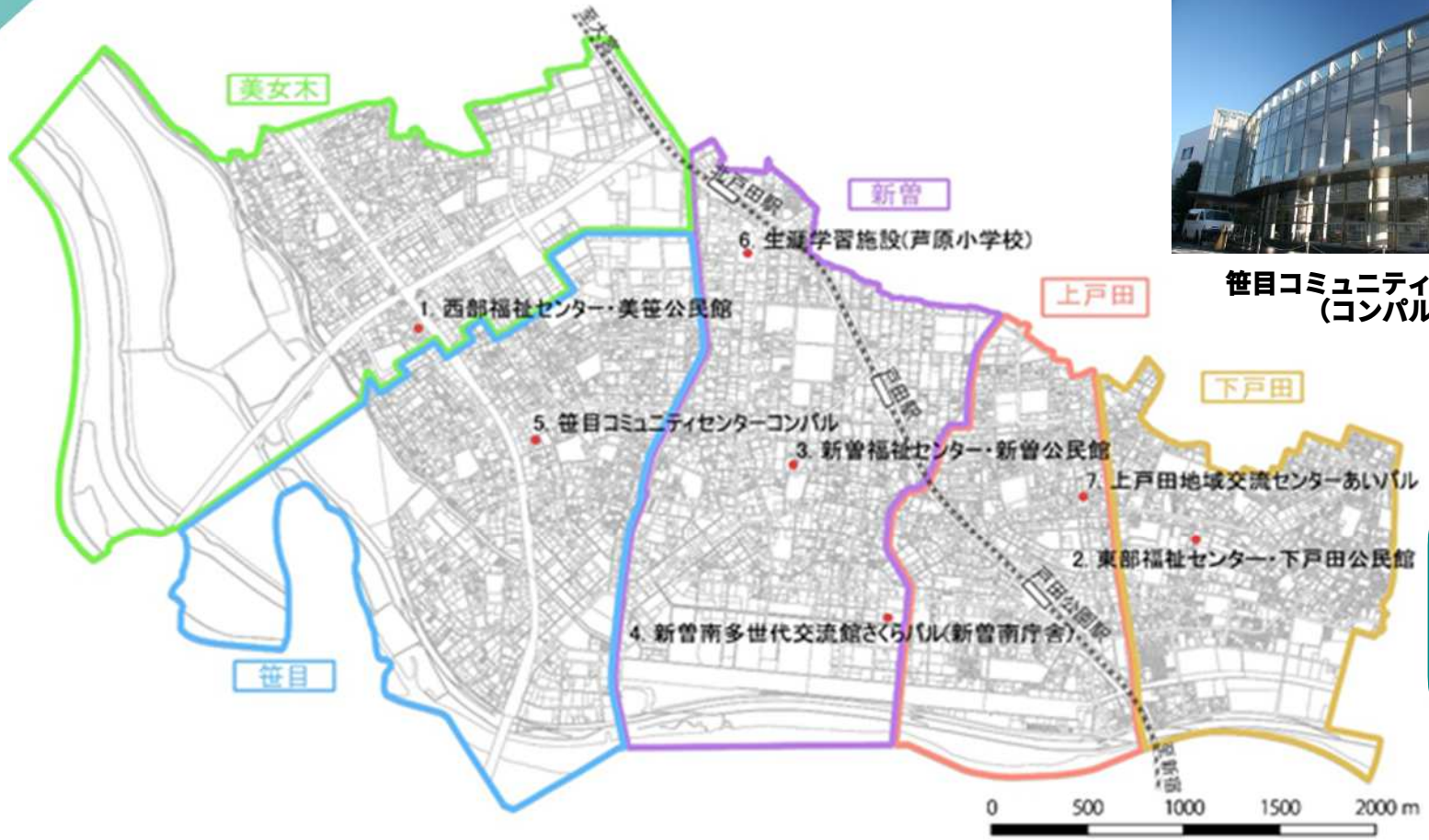
地域や学校との連携イベント

５　公民館の今後の方向性について

5　公民館の今後の方向性について

市内のコミュニティ関連施設の設置状況

コミュニティ関連施設



（指定管理者による運営）

笹目コミュニティセンター
（コンパル）



新曽南多世代交流館
（さくらパル）

公民館以外の市内コミュニティ関連施設においても、各種講座など、市民に対し**学びや活動の場、居場所を提供**

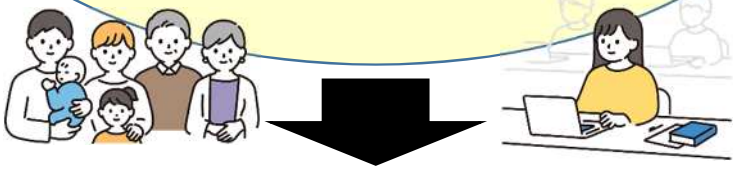
5　公民館の今後の方向性について

市民が求めているもの・社会や時代から求められているもの

＜ハード面＞
- バリアフリー
- フレキシブル
- 明るい・防犯対策
- 防音　・Wi-Fi



＜機能面＞
- 多世代・地域交流　・居場所
- 講座開催　・学習支援
- 健康増進　・担い手育成
- 地域課題の解決・情報発信



＜運営面＞
- 指定管理者制度
- 産官学民との連携
- 社会教育人材の配置



新たな形の「学びとつながりのプラットフォーム」へ

市民ニーズや戸田市の現状に合った生涯学習の推進にふさわしい新しい形の施設に
「つどう」「まなぶ」「むすぶ」を強化し、人づくり・地域づくり・つながりづくりをさらに促進

＜参考資料＞

戸田市立図書館（下戸田分室、美笹分室、上戸田分館）の概要



下戸田分室（東部福祉センター）

所在地	下前1-2-20　１階
開館年月	昭和４９年５月
施設概要	面積42.2㎡
利用状況・特徴	蔵書　約９,000冊 年間貸出(R5)　32,313点 年間貸出利用者　7,789人 蔵書に8割が児童書となっており、他には子どもと共に来室する保護者向けに育児や家事関係の一般書と雑誌を配置している。



美笹分室（西部福祉センター）

所在地	美女木5-2-16　２階
開館年月	昭和47年６月
施設概要	面積９９.0㎡
利用状況・特徴	蔵書　約16,000冊 年間貸出(R5)　16,079点 年間貸出利用者　3,627人 令和5年度よりおはなし会（月１回）を開始 テーマ展示も積極的に実施している。 蔵書は一般書が5割強を占めている。

参考



上戸田分館（あいパル）



上戸田分館赤ちゃんおはなし会

所在地	上戸田2-21-1　２階
開館年月	平成２７年９月
施設概要	面積５４２.５８㎡
利用状況・特徴	蔵書　約７６,000冊 年間貸出(R5)　１６２,３９０点 年間貸出利用者　42,627人 書架の高さを135～155cmと低めにし、見通しのよいゆったりとした空間としている。 閲覧席は１４席あり、1席ごとにLED照明とコンセントが設置されている。



美笹分室おはなし会

＜参考資料＞

公民館×図書館　学びを深めるきっかけづくり

リカレント講座①　市民大学講座

韓国語入門講座

～歌や文化も楽しく学びます～

韓国語を基礎から学び、併せて韓国の歌や文化についても楽しく学びます。

日時：　令和6年6月1日・8日・15日・22日・29日、
7月6日・13日・20日　各土曜日　全8回
午前10時～午前11時30分

会場：　下戸田公民館（東部福祉センター）　2階　大会議室

対象・定員：　市内在住・在勤・在学者（中学生以上）　20人

申込：　5月2日（木）10時より　先着順

申込方法：　①市のホームページの申込フォーム
下の二次元コードを読み取ってください
②電子メール・FAX
講座名・氏名・ヨミガナ・年齢・住所・電話番号を記入してください
③電話・窓口



申込はこちら

問合せ・申込先
下戸田公民館
（東部福祉センター）

電話443－1021　FAX443－1020
simotoda-kouminkan@city.toda.saitama.jp



公民館講座開催時に関連図書を紹介

学びを深める
きっかけづくり

＋

図書館利用PR・
本とふれあう機会の
創出





＜参考資料＞

子どもの居場所づくりについて（令和５年度実績）

美笹公民館

学校や企業、地域と連携した体験型子ども講座及び子ども大学とだの実施



南稜高校･夏休み子どもチアダンス（16名受講）



夏休み家族工作教室（18名受講）



冬休み子ども書初め教室（10名受講）



ファミリー講座バレンタインのお菓子づくり（14名受講）



子ども大学 テレビ局の舞台裏（24名受講）



子ども大学 青山学院大学訪問（28名受講）

下戸田公民館

学校の課題関連をテーマに8月、12月の休み期間を中心に体験型講座を実施



夏休みこどもリサイクル工作教室（18名受講）



夏休みこども水彩画教室（18名受講）



冬休みこども書初め教室（12名受講）



家族で手打ちそば教室（8名受講）

新曽公民館

子どもや家族で楽しめる体験型の講座を開催



家族でチャレンジおいしい料理づくり教室(10名受講)



夏休み製作（ポーセラーツ）講座(19名受講)



子ども工作講座（7名受講）



子どもたちでチャレンジおいしい料理づくり教室(12名受講)



たのしくデコろう！クリスマスアイシングクッキー講座（20名受講）



子ども書道講座(11名受講)

＜参考資料＞

子どもの居場所づくりについて（令和５年度実績）

図書館

子どもの想像力と好奇心を刺激する多種多様なイベントを実施



【各種おはなし会・映画会】
254回1790名参加（R4実績）



【講座】プログラミング（親子17名）
骨格標本作り（延べ25人）他



【学習支援】ひゃっか王からの挑戦状、
図鑑名人になろう他（親子72名参加）



【体験】一日図書館員（6名受講）
図書館たんけんツアー（21名参加）他

郷土博物館

小･中学生を対象とした体験型講座（子ども体験ひろば）を実施



火おこしにちょうせん①②
（7名受講）



火おこしにちょうせん③④
（7名受講）



昔の道具を使ってみよう①
（9名受講）



昔の道具を使ってみよう②
（8名受講）

彩湖自然学習センター

新たな水辺環境エコツアーの実施（カヌー等）とセンター講座の実施



彩湖周辺の野鳥観察
@カヌー編①（8名受講）



彩湖周辺の野鳥観察
@カヌー編②（7名受講）



投網体験
（18名受講）



彩湖でお月見
（22名受講）



和凧をつくろう
（15名受講）